

ID	あなたは？	講演(園田眞樹氏)をお聞きになつての感想や意見などをお書きください。	学生座談会や全体の意見交換をお聞きになつての感想や意見などをお書きください。	本日の研究会の運営について、お気づきのこと、改善点などありましたらあれば良いか、お書きください。	次回のような企画、お話し、講師などがあれば良いか、お書きください。具体的なこともお願いします。		
16	学部1年生	大学生のモラトリアム期は将来のビジョンを考えるうえでとても貴重な時間だと感じました。卒業後に自分が選択する職種や人生設計を考えるために沢山のことを経験する最後の時間だと思います。計画された偶発性理論では積極的に行動することが自身のキャリアを豊かにする近道でもありセレンディビティを高めることにもつながると思います。なので自分の興味のあることや実際に自分の目で確認したいことがあれば積極的に行動したいなと思いました。	堀田さんがいかにして自由なパーソナリティを確立したかには僕も心理学を学んでいるのでとても興味深かったです	特にありません	今回のように自分で自分の仕事を作つてそれを自分の生きがいにして確立している人の話を聞けると、とても勉強になります。		
11	学部3年生	「手の届くところから」という言葉がとても印象に残りました。社会のありかたを考える中で、やはり政治にぶち当たり、政治を変えたい、社会を変えたいと考え、そのハードルの高さにもどかしさを感じることもとても多くありました。堀田さんの「どの単位で社会を見るか」とどこに自分をポジショニングするか」というお話を聞き、自分にできる範囲で何かをすればいくつ全国に広がるかもしれない、いつか社会が変わるきっかけになるかもしれないと考えることができました。自分は学生事務局として頑張っているところなので、学生事務局という立場でできるアプローチを考えてみたいと思いました。	アイデアを形にするのに、「小さなことから考えてい」という考えがとても印象に残りました。堀田さん自身はたいそなことはやっていないと仰っていましたが、実際にやつたことのない自分からするととても難しく大きなことのように思えました。しかし、大きく考えることも最終的には誰にでもできる小さな一歩なのかもしれないと感じました。失敗を恐れず、いきなり大きなことを考えず、小さく自分でもできることからやってみようという考え方を参考にしたいと感じ、勇気をもつたような気がしました。		声掛けが集まった仲間よりも活動の中で共感できた仲間の方が一緒に活動しやすいというのは納得しました。		
10	学部4年生以上(既卒含む)	近所の子供達に来てもらって絵を描いてもらうなど、地域の人と一緒に考えて進んでいくのがいいなと思います。お願いとして巻き込んで、その後の良い関係性になっていくのがつながりのプラットフォームとして、大学生協にも通ずるものがあると思いました。					
3	大学教員	学生にキャリアについて考えてもらう素敵なお話だったと思います	多くの学生さんがどのように感じられたのか気になりました	とくにありません	本日のような話を多様な視点で探る場を持てたらと思います ぜひ学生が聞いてみたい方のお話を中心に検討いただければと思います。		
7	大学教員	何事も「自分で決める少しの勇気」があれば、可能性が広がり、多様な生き方や働き方につながることを実践を基にお話が聞けて大変刺激をいただきました。ありがとうございます。	今回は学生参加も多く、活発に感想や意見が出ており、とても良かったと思います。	色々ご準備いただきありがとうございます。			
17	大学教員	動画は期日過ぎましたので拝見できませんでした。配布資料を参照し、堀田さんが大学を飛び出して地域活動している様子が伝わってきました。地域に出るには勇気もいりますし、授業とアルバイトを中心とした生活を送る学生が多い中、就職する姿勢は素晴らしいと思います。地域活動もスタートばかりですので、年々をかけて独自色と成果を出していければと思います。		リアルタイムで参加できないので、遅れて視聴をお願いしたのですが、結局拝見できませんでした。アーカイブについて、URL(アドレス)をいただけましたら嬉しかったです。	ボランティアに積極的に関わる学生の話が聞きたいです。		
2	大学生協役員	他者との切磋琢磨が大学ということと、学生みんなに体験してほしい。生協職員もその一助に慣れれば					
4	大学生協役員	還暦過ぎです。かつてはドロップしたらアウトという意識に自身も縛られていたのですが、そんなことはない時代になったのだなと実感しました。	ワークライフバランス。				
6	大学生協役員	『マイナスからではなく、ゼロからプラスにする』という考え方は、全国大学生協連の社会的課題委員会で共有したい考えでした。そのほかにいくつか共感したご意見がありました。私以上に多くの学生さんが共感されたのではないかと思います(生活の中でナチュラルに働きたい…とか)。	堀田さんのお話を伺っていて、「プレない考えをお持ちだな…」と感じました。誰もが持ち得るものではないかと思いますが、大切なことだと改めて感じました。	面白いテーマをご準備いただき、ありがとうございます。			
9	大学生協役員	実際には様々な場面で行動力・判断力を発揮されているのだとは思いますが、とても自然体でお話されている(ように見える)方だなあ、と感心していました。それはそれで素晴らしい個性だなと思います。	「大学生協は大学コミュニティにおいてどんな存在でありたいか」ということを考えながら聞いていました。例えば進路の事で言えば、松坂先生もおっしゃっていたように「民間ですか？公務員ですか？」という枠組みの中で考えることが当たり前になっています(現在の大学生協事業もその枠組みにとらわれてはいます)のですが、その中で大学生協におけるコミュニティにおいて、「いやいや、こんな選択肢もあるよ」ということを提案できること、多様な人とのつながり、対話の中で学生さんが考える機会を提供することは、「大学生協における『遊び』」という面でもとても意義のあることではないかと思いました。現実には、そのような「遊び」の部分にまで手を伸ばしている状況ではない側面もある(笑)なのですが、そんな思いをどこかに持ちながら関われる組織でありたいな、と思いました。	運営大変お疲れ様でした。お手伝いできずに申し訳ありませんでした。			
12	大学生協役員	率直な感想はアウトローだな。ただ、こういう生き方もあっていいと思うので、応援したい。前回の島田さんもそうだが、こんな生きかたをしても、無理なく生きていける世の中であってほしいと思う。	参加している学生に聞いてみたいと思ったことがあります。感想の中で、現在はSNSで承認欲求を満たせたりするのに、直接の対話を意識しているのはなぜ？のような感想があったが、「本当に、いいねをもらうことで承認欲求は満たされている？」と聞いてみたかった。	生協で活動する学生にはぜひ聞いてほしい内容のになぜ参加が少ないのでしょうか。特にブロック学生は、授業がある人以外は、必須にして良いと思う。			
13	大学生協役員	松坂先生からもコメントされた「やりたこと×誰かの役に立つ」の根拠に事前に視認した動画にあった「もったいない」が根拠にあるように感じました。上記の「誰かをたいていせなむ」と置き換えれば、より鮮明になるかもしれない。「たいていせなむ(自分含む)」の役に立つやりたことでもない人生はもったいない。「目撃の完成度でスタートさせて、関係するみんなまで完成へ向けての過程を楽しむ。すべてが動いている環境認識が根拠にある。「まちづくり」の視点・発想が根拠にあると確信できました。	やはり「学生証のある現役学生の話」は、心に響いた。「彼女らでしかできないこと」ほど真ん中に据えて、具現化する視点、発想を大切にすることなしに、大学(生協)の未来はない、と強く感じた。学生(常勤含む)どしでのやりとりがとても貴重。一方で学生と寄り添う松坂先生のような教員の話とも貴重。「協同組合の組合員活動の原点」かもしれない。	立場や所属の異なる多くの方の参加があり、とてもよかったです。立場や所属を超えて、フリーに参加された事実はきわめて重要な総括ポイント。「現役学生(堀田さん)」の登壇ということ以外「テーマ」もよかった(ハマった)印象である。	「大学で現役学生に寄り添い、ともに課題(のびしろ)に向かっているせきこと」を盛り込んで、こんな感じで、 https://sites.google.com/site/riskseminar/home 米山高生先生(ゼミ)も一橋大学時代に参加されていた上記には大きなヒントがある。まさに「じぶんたちごと」で学び合う環境であると思う。		
15	大学生協役員	問題(社会問題)から、その解決を提案するのではなく、こうなったらおもしろいんじゃないという提案を行うという発想、手の届く範囲から確実ににはじめるという視点が、取り組みをすすめる力となっていることを学びました。	堀田さんのお話をうけて、各自が積極的に発言していたのが新鮮でしたが、「社会的な目を各自がどう意識し、学生生活や、将来を考えているのかについて気軽に話せると学生相互にも刺激となりいいのではないかと思います。	オンラインで参加もしやすいので、もっと多くの参加者があればとも思いましたし、各生協で積極的に大学生関係者にインフォメーションしてもいいのではないかと思います。	社会的起業家のお話をいろいろとお聞きしてみたいと思いました。		
1	その他	手の届く範囲を自分の手で変えていくという堀田さんの姿勢と、実際に行動していることが印象的でした。一つ一つの行動は手の届く行動かもしれませんが、やるからじゃないか？結果は大きく変わるということが学生の皆さんにも届いたんじゃないでしょうか。	「手の届く範囲を自分の手で変えていく」や「一つ一つの経験の意味を考え抜く」あたりが響いたのかなと思いました。	良い学びの機会をありがとうございます。			
5	その他	とても気持ちが悪くなる、楽しいお話しでした。学生の方だけではなく堀田さんの倍以上生きているおじさんにも生き方の参考となるものでした。お話を聞いている中で私は西川正(バルシステム)という生協の理事でもありませんという真庭市の図書館館長の生き方や取り組み、書籍などが想像され、また「あそびの生まれる場所」という本に似た印象を受けました。大学まで学ぶというのは自分で生き方を選ぶために学んだと思いました。	参加はしておりません。		学生さん中心の良い研究会だと思いました(初参加でした)		
8	その他	足を使って地域を歩き、スモールスタートから変化を起こしていくという考え方が非常に成熟していて感銘を受けました。人と違ったことを始めるにあたって「こわいものが無かった」という言葉が印象に残ります。現在、就活をはじめとして「○○しない」と人生ダメになる」という学生への脅しが多すぎて、学生の自由な時間や試行錯誤の機会が奪われていくと憂慮しております。堀田さんがその「脅し」を華麗にかわってわが道を行くことができたのはどういふ要因によるのか、何か一般の学生教育に還元できるものが抽出できたら有意義だと思います。					
14	その他	本日はご講演いただきありがとうございます。事業は社会への提案、創造的な問いが出発点という言葉がハッとさせられました。働く上で対応していくことが主になり、考えることが少なくなってしまうと考えさせられました。人とのつながりを大事にしながら、自分で決めることを意識していこうと思いました。本当にありがとうございます！					